



**雪肌精 クリアウェルネス**  
**ピュア コンク SS** ボトル・レフィル

---

カーボンフットプリント 算定報告書

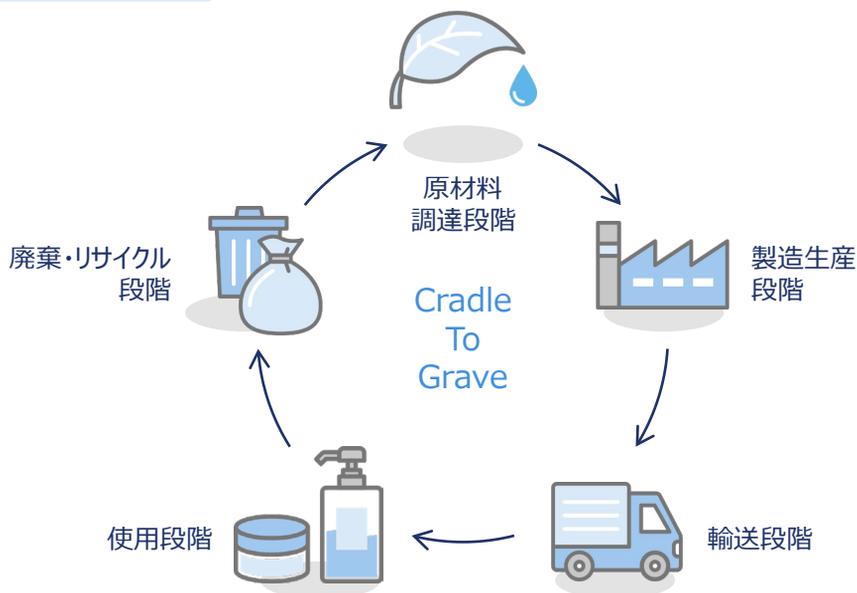
## 1 算定の目的

コーセーは、『雪肌精 クリアウェルネス ピュア コンク SS』（ボトル、レフィル）の原材料調達から廃棄に至るまで（Cradle to Grave）のライフサイクルを通じたCO<sub>2</sub>排出量である「カーボンフットプリント」を可視化するとともに、将来的な排出量削減の方針を検討することを目的にカーボンフットプリントを算定しました。また、サステナブルな行動におけるカーボンフットプリントという選択肢をまずは消費者に知っていただくという観点からも、スピード感を持って算定することを重視しました。算定においては、スピードを確保しつつも、結果の信頼性を担保するために必要十分な精度となるよう留意しています。

- スピードと正確性を両立させるため、必要十分な精度を見極めたうえで算定
- 取得が困難なデータをシナリオや按分で代替する場合には、妥当性を確認することで結果の信頼性を担保
- ISO14067 を援用して算定

## 2 製品のライフサイクルと使用したシナリオ

|   |                        |  |
|---|------------------------|--|
| 1 | 機能単位<br>(宣言単位)         | 『雪肌精 クリアウェルネス ピュア コンク SS』<br>(ボトル200mL、レフィル170mL) 商品 1 個当たり                    |
| 2 | カーボンフットプリント<br>算定の対象期間 | 2022年1月以降のデータで取得可能なデータを利用  |
| 3 | 考慮する<br>GHGの種類         | IDEA,環境省データベースの原単位データに含まれる<br>GHG (CO <sub>2</sub> ,CH <sub>4</sub> 等) を考慮している |
| 4 | システム境界図と<br>ライフサイクルフロー | 原材料調達から廃棄に至るまで (Cradle to Grave) の<br>ライフサイクル全体                                |



### 3 収集データ源

一次データは、関連する社内データを使用しました。各データの期間は、現状を正しく反映していることに留意しつつ、データ取得の難易により個別に判断しています。二次データは、IDEA ver.3.1、環境省グリーン・バリューチェーンプラットフォームVer.2.4（2022年10月時点での最新）、SuMPO 国・地域間距離データベースのデータを参照しました。また、活動量の一次データの取得が困難な場合には、シナリオを使用しました。

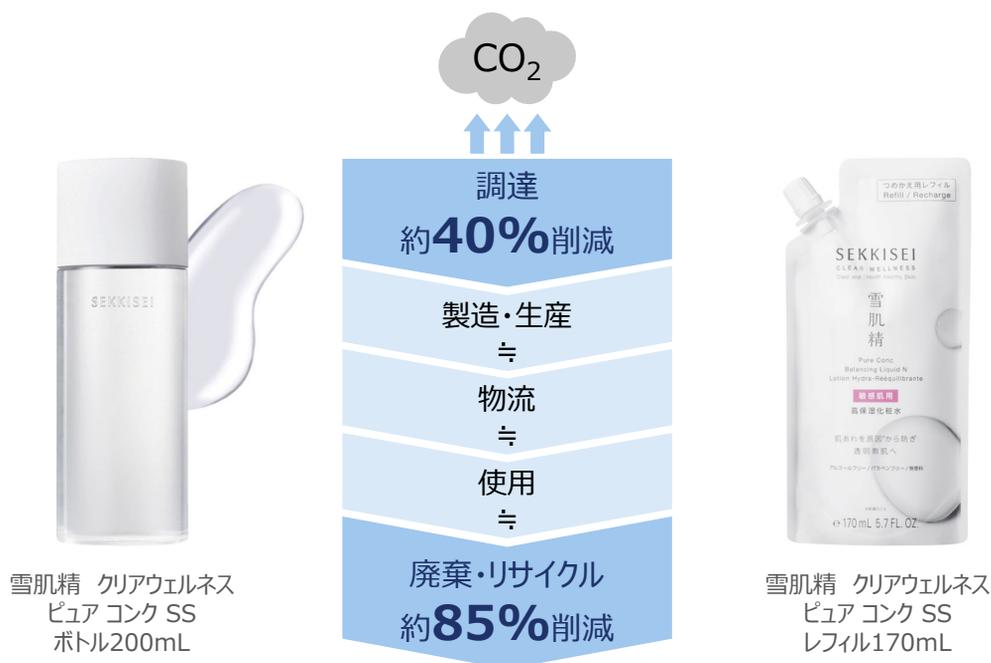
### 4 算定結果

『雪肌精 クリアウェルネス ピュア コンク SS』（ボトル200mL）の原材料調達から廃棄に至るまで（Cradle to Grave）のライフサイクル全体におけるCO<sub>2</sub>排出量のイメージは、以下のようになります。



『雪肌精 クリアウェルネス ピュア コンク SS』（レフィル170mL）の原材料調達から廃棄に至るまで（Cradle to Grave）のライフサイクル全体におけるCO<sub>2</sub>排出量のイメージは、以下のようになります。





## 5 調査の限界と将来の方向性

カーボンフットプリント算定のスピードと正確性を両立させる観点から、原材料調達段階、輸送段階の算定において、シナリオを設定し算定を行っており、実際の状況を反映していない部分もあります。製造生産段階でのエネルギー使用量は、当社データを利用していますが、一部工程の実測値取得が困難であったため、当社データの按分で算定した部分もあります。

今後も、継続的にカーボンフットプリントの算定手法を見直すことで、削減効果を反映した算定や実態に即した算定を目指し、結果の正確性をさらに高めていきます。